

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査実施日

平成30年4月17日(火)

4 調査の内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科) ※理科については、3年に一度の実施
- ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
- 〔
- ・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
 - ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題
 - ・理科：主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査(生活習慣や学習環境等)

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

5 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数

- (1) 学校数(義務教育学校、特別支援学校を含む)
- ・小学校：208校
 - ・中学校：89校
- (2) 児童生徒数(義務教育学校、特別支援学校を含む)
- ・小学校：9,622人
 - ・中学校：9,902人

II 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

学年	項目	県・国	国語		算数・数学		理科
			A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	
小学校 第6学年	平均正答率 (%)	全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
			問題数	32	9	36	14
中学校 第3学年	平均正答率 (%)	全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
			問題数	32	9	36	14
		本県	76	61	68	59	66
		本県	79	65	71	52	71
		秋田) 328 富山) 317 福井) 319					
		石川) 330					
		秋田) 337 富山) 332 福井) 339					
		石川) 338					

※文部科学省は、平成29年度から県の平均正答率を整数値で公表している。

(参考)
平均正答率
の合計

2 質問紙調査の結果 《抜粋》

＜ 児童生徒質問紙 ＞

【学習に対する関心・意欲・態度】

- (1) 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
→ 小6で90. 1%、中3で84. 0%で全国より高い。(全国:小6 85. 8%、中3 80. 6%)
- (2) 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている。
→ 小6で63. 1%、中3で44. 8%で全国より高い。(全国:小6 54. 5%、中3 41. 4%)



授業において、主体的に学習を進めようとする態度が良好

【学習習慣等】

- (3) 家で、自分で計画を立てて勉強している。
→ 小6で72. 7%、中3で57. 8%で全国より高い。(全国:小6 67. 6%、中3 52. 1%)
- (4) 家で、学校の授業の予習・復習をしている。
→ 小6で73. 0%、中3で59. 1%で全国より高い。(全国:小6 62. 6%、中3 55. 2%)



家庭において、主体的・計画的に学習しようとする態度が良好

＜ 学校質問紙 ＞ 【指導方法に関すること】

- (5) 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした。
→ 小6で37. 0%、中3で41. 6%で全国より高い。(全国:小6 26. 8%、中3 26. 1%)
- (6) 全国学力・学習状況調査の自校の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用した。
→ 小6で78. 4%、中3で65. 2%で全国より高い。(全国:小6 42. 7%、中3 34. 3%)



各学校の学力向上に対する、地道で真摯な取組が
子どもの高い学力の維持・向上を支えている

2 質問紙調査の結果 《抜粋》
 < 児童生徒質問紙 >

(参考資料)

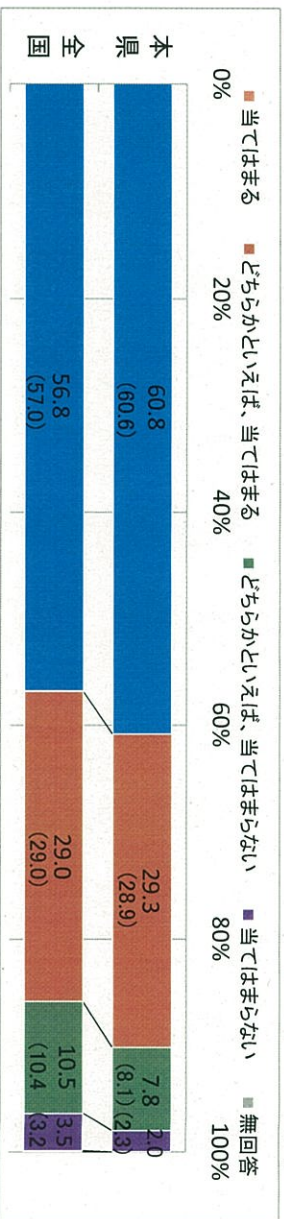
【学習に対する関心・意欲・態度】

(1) 算数・数学の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

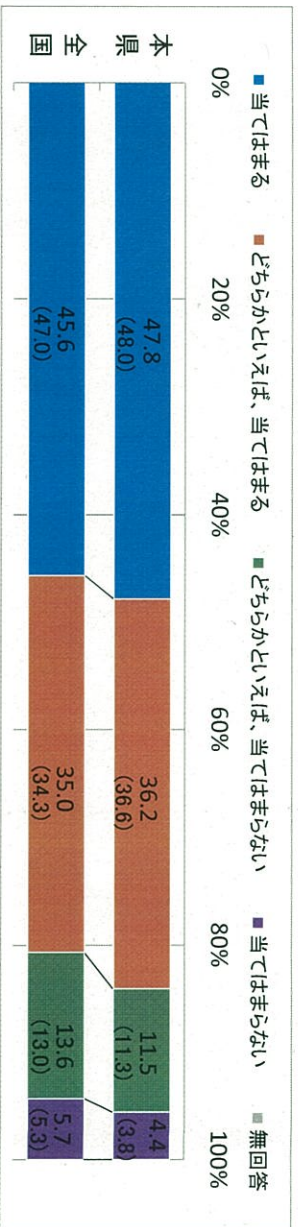
問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている児童生徒の割合は、小6は90.1%、中3は84.0%で、ともに全国よりもやや高い。

【小6】

※ () 内は、H29の数値



【中3】

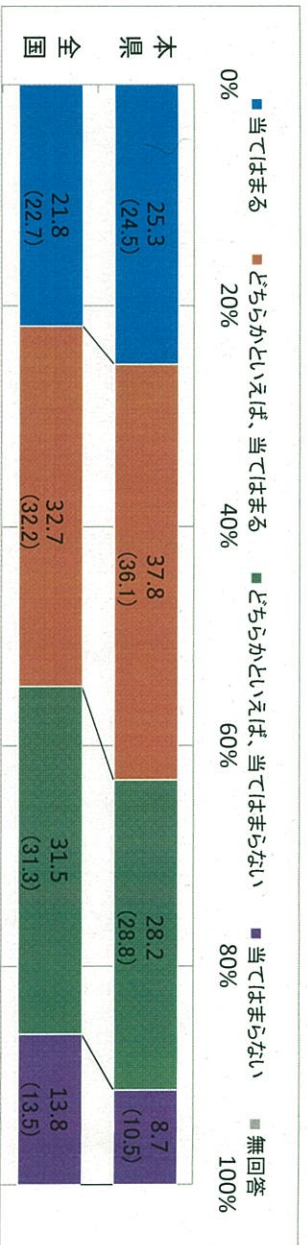


(2) 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか

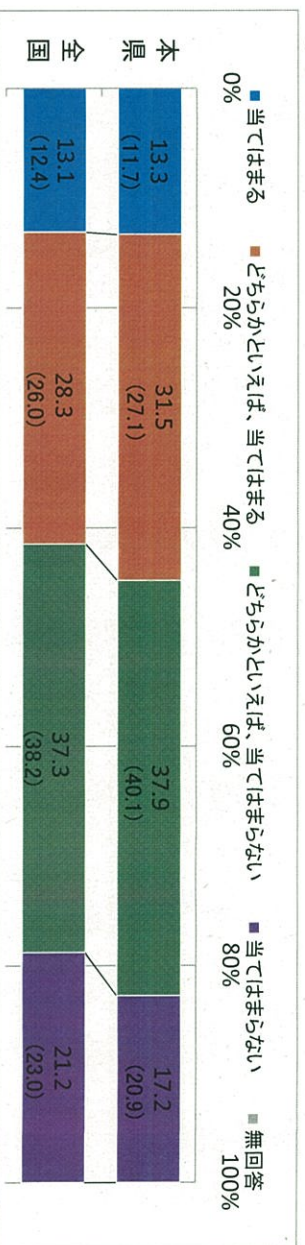
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている児童生徒の割合は、小6は63.1%で全国より高く、中3は44.8%で全国よりやや高い。

【小6】

※ () 内は、H27の数値



【中3】



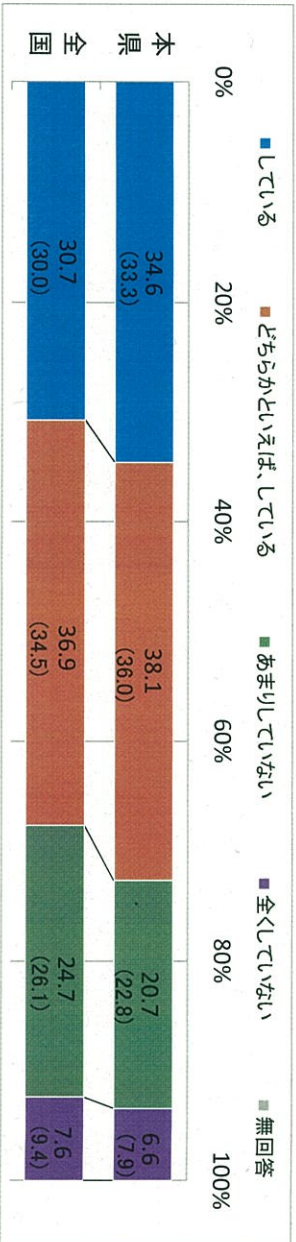
【学習習慣等】

(3) 家で、自分で計画を立てて勉強していますか

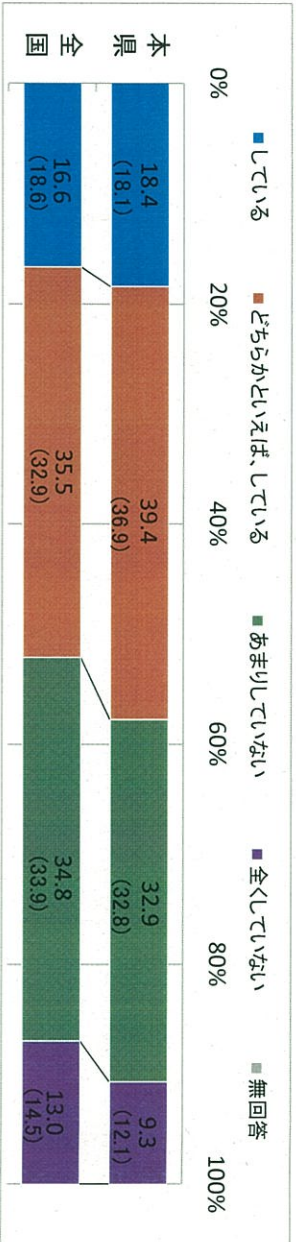
家で、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、小6は72.7%、中3は57.8%で、ともに全国より高い。

【小6】

※ () 内は、H29の数値



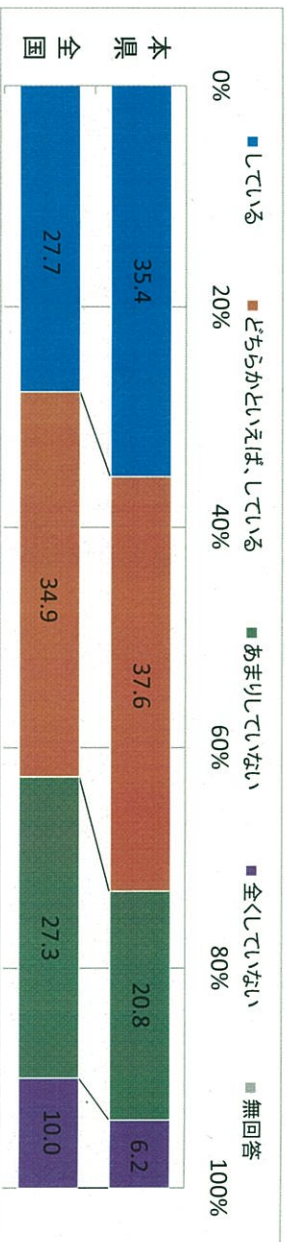
【中3】



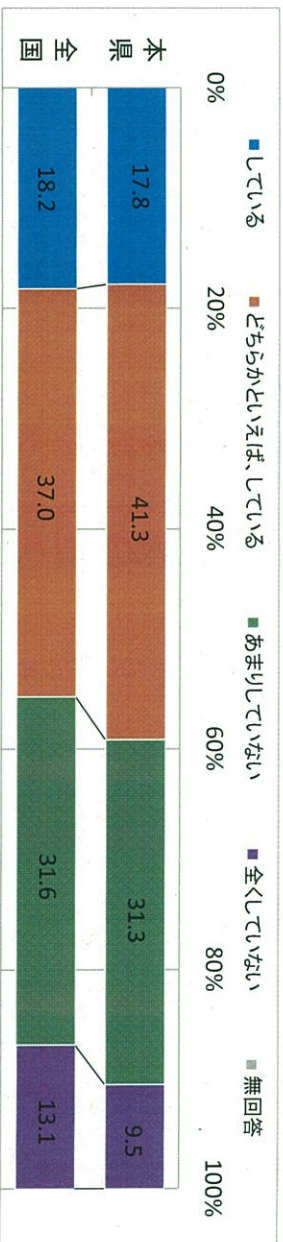
(4) 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか ※H30年度に新たに追加された項目

家で、学校の授業の予習・復習をしている児童生徒の割合は、小6は73.0%で全国よりかなり高く、中3は59.1%で全国よりやや高い。

【小6】



【中3】



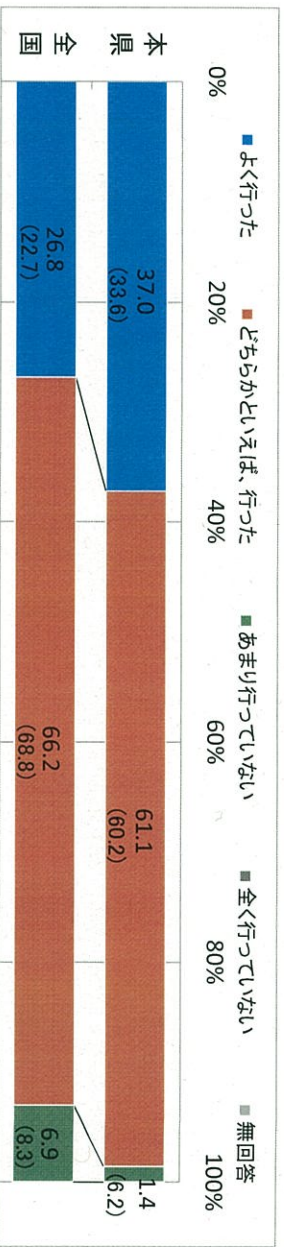
【指導方法に関すること】

(5) 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

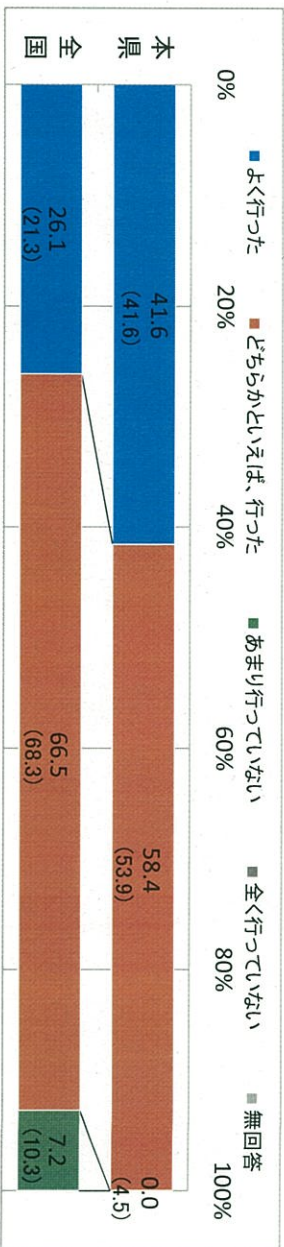
前学年までには、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした学校の割合は、小学校は98.1%、中学校は100%でも全国よりも高く、「よく行った」との積極的な回答の割合は、小学校で10.2%、中学校で15.5%高い。

【小学校】

※ () 内は、H29の数値



【中学校】

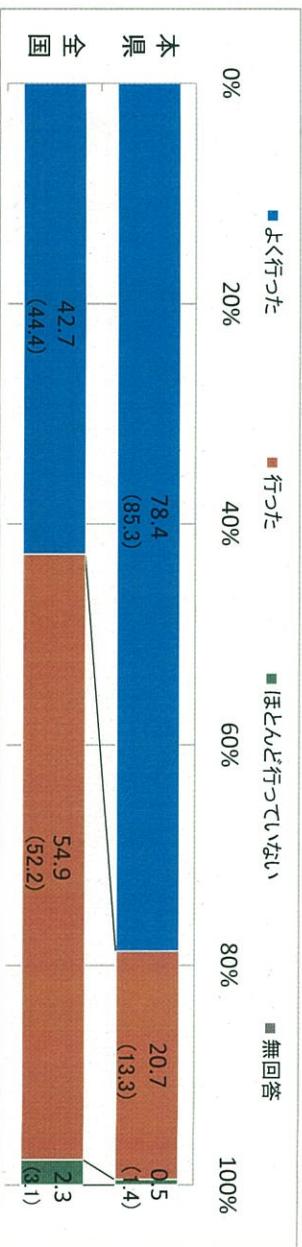


(6) 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

全国学力・学習状況調査の自校の結果を学校全体で教育活動を改善するために活用している学校の割合は、小学校は99.1%、中学校は97.8%でも全国と同程度であるが、「よく行っている」との積極的な回答の割合は、小学校で35.7%、中学校で30.9%高い。

【小学校】

※ () 内は、H29の数値



【中学校】

